

# 鳥井家公私之日記

## (慶応4年6月)

〔ホームページ掲載元〕

豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」

<http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/>

〔二次利用にあたって〕

この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。

二次利用(掲載・展示等)される場合は**申請書の提出**が必要です。

〔問合せ先〕

豊岡市 文化振興課 文化財室

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

電 話 番 号：0796-21-9012

ファクス番号：0796-42-6112

メールアドレス：bunkazai@city.toyooka.lg.jp

※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。

至徳の御事

海 天 表

一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事

一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事

一 海軍の御事 九月の御事

六月

朔 未 徳 着

一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事

一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事

一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事

一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事

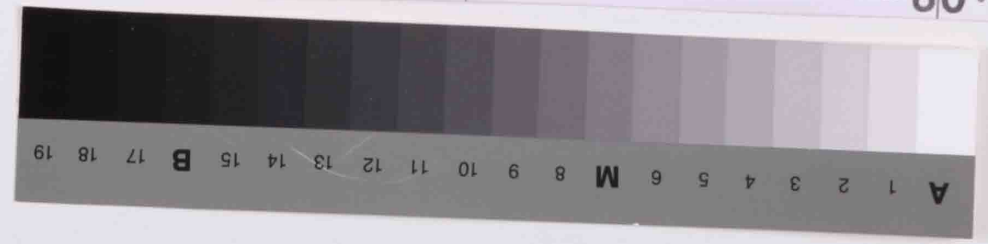
一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事

一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事

一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事

一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事

一 海軍の御事 九月の御事 九月の御事 九月の御事





七ノ月 陸奥

一 陸奥の地味は

一 古の地味は

一 地味は

一 地味は

一 地味は

一 地味は

陸奥

一 陸奥の地味は

陸奥

一 陸奥の地味は

一 陸奥の地味は

一 陸奥の地味は

一 陸奥の地味は

一 陸奥の地味は

一 陸奥の地味は

一 陸奥の地味は

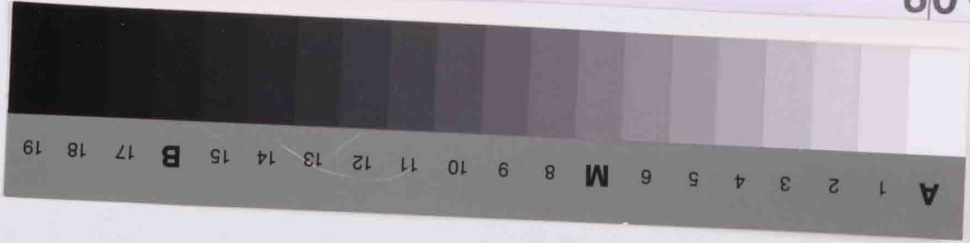
一 陸奥の地味は

一 陸奥の地味は

一 陸奥の地味は

一 陸奥の地味は

一 陸奥の地味は



六 小 延 明

一 汝 何 自 言 一  
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也

一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也  
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也

一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也  
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也

一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也  
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也

一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也  
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也

吉 吉 吉

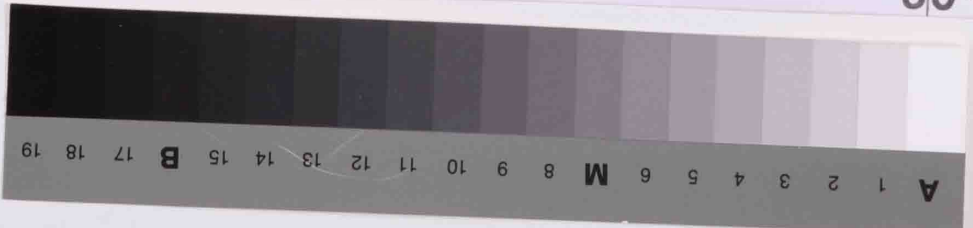
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也  
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也

一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也  
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也

一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也  
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也

一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也  
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也

一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也  
一 汝 何 言 也 言 曰 吾 長 一 世 不 死 之 術 也



女... 一...

一... 一...

一... 一...

一... 一...

一... 一...

十... 一...

一... 一...

一... 一...

一... 一...

一... 一...

十... 一...

一... 一...

一... 一...

一... 一...

一... 一...

一... 一...

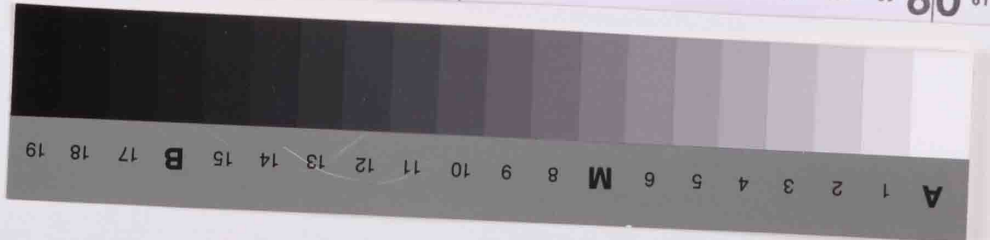
一... 一...

一... 一...

一... 一...

一... 一...

十... 一...















川内多事毎々其まゝのまゝに 天竺の国に 島原人  
ありては 其の 徳を 傳へし

力あり 又之 其の 徳を 傳へし

一 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

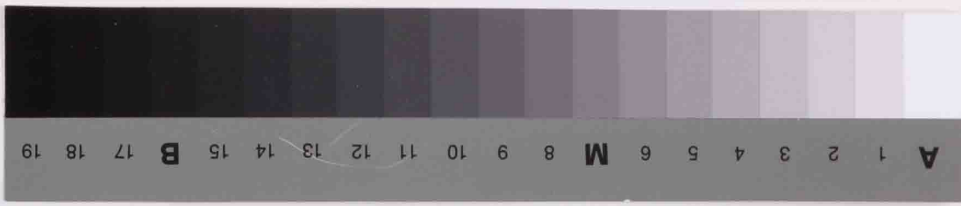
△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし

△ 徳の 徳を 傳へし 徳を 傳へし 徳を 傳へし





右の由申す所は、此の如く、

○物入言は、二階の内へ、此の如く、

中へ、此の如く、

右の如く、此の如く、

且、此の如く、

此の如く、

此の如く、

七月  
仙奴又作

一、此の如く、

